

雨畑ダム堆砂除去要請へ

山梨知事、日軽金に



駿河湾サクラエビの深刻な不漁を受け、静岡、山梨両県が濁りの実態調査を進める雨畑ダム（同県早川町）の堆砂問題について、

同県の長崎幸太郎知事は7日の定例記者会見で、日本軽金属（東京都）に対し、堆砂の除去を行うよう要請する方針を明らかにした。

ダム湖を埋める土砂や泥は、水力発電用の導水管を経て、同社蒲原製造所（静岡市清水区）の放水路からサクラエビの産卵場周辺の駿河湾に流れ込む濁水の原因になっているとみられている。

会見した長崎知事によると、堆砂除去の要請方針はすでに県庁内で意思決定をしていて、国と相談した上で正式に要請する時期を決めるといふ。

一方、雨畑ダム下流のニッケイ工業の砂利プラント近くで7月、コンクリートくずなどの不法投棄が見つかった問題については「期限を決め可及的速やかに撤去を求めていく」と述べ、刑事告発の明言はしなかった。

同社の社長が元山梨県治水課長であることについては「承知はしているが、行政当局への働きかけは確認されていない。変な疑念が生じないようにしたい」などと述べた。

（サクラエビ異変取材班）